

| | | |
|--|-----------|-----|
| 科目名称： | ファッションと生活 | |
| 担当者名： | 中村 裕美子 | |
| 区分 | 授業形態 | 単位数 |
| 専門教育科目 | 演習 | 1 |
| 授業の目的・テーマ | | |
| ファッションとは本来「人間の創造的行為」でライフスタイルを総括するもの。「自分に似合うとは何なのか？」を考察し、ファッションイメージを、色を中心に形や素材も含めて学び、パーソナルカラーのカードを使用して演習します。カラーアンダートーンシステムの配色を習得し、仕事も含めて生活全般に活かすことができることを目指します。 | | |
| 授業の達成目標・到達目標 | | |
| 自分の体型、顔の特徴、似合うパーソナルカラータイプを理解し、TPOに応じたスタイリングを出来るようにすること。「衣食住・こころ」のすべてに色彩の効果を取り入れた生活ができるようになること。 | | |

| | | |
|----------|---|------|
| ビジネス実務学科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
| DP(1) | 自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。 | |
| DP(2) | 地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。 | |
| DP(3) | ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。 | ○ |

| 評価方法/ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ 小テスト | 提出課題 (レポート含む) | その他 | 合計 |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| ビジネスDP(1) | | | | | 0 |
| ビジネスDP(2) | | | | | 0 |
| ビジネスDP(3) | | | 100 | | 100 |
| | | | | | 100 |

| | | |
|--------------|--------------------------|----------------|
| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） | |
| あり | 《内容1》 パーソナルカラリスト | 《経験年数1》 32年 |
| | 《内容2》 カラーセラピスト | 《経験年数2》 20年 |
| | 《内容3》 | 《経験年数3》 |
| | 《内容4》 | 《経験年数4》 |
| 備考 | | |
| | | |

| 評価ルーブリック | すばらしい | とてもよい | よい | 要努力 |
|---|-----------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| 「衣食住・心」に色彩の効果を活かした選択ができること | 色彩の効果を最大に生かしたファッションコードを常に表現 | 心に沿うファッション表現が色できている | 言葉の代わりに色で表現できる | 配色方法、心理効果を理解する |
| 自分の体型、パーソナルカラーを理解すること | パーソナルカラータイプの色・人・配色の特徴をすべて理解 | アンダートーンの色の違いが理解された表現ができる | なりたい自分のイメージと今の自分との差を理解 | 自分の肌・髪・瞳の色のアンダートーンを理解 |
| 自分を客観的にとらえ、TPOに応じた最適なファッションスタイルをプロデュースできる | イメージを的確に色・形・素材で表現できる | 自分の体型、顔の形を活かしたファッションイメージを選択することができる | 好きなファッションと似合うファッションの違いを理解している | ファッションイメージの特徴を理解 |
| | | | | |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間(分) |
|---|--|-------------|
| 第1回 ガイダンス(教材の説明、パーソナルカラーと似合う色)言葉の色に変換実習 | 教材のカラーカードを使い自己紹介できるようにしておく | 40分 |
| 第2回 パーソナルカラーとは① 肌の色・髪の色・カラー診断実習 | テキストp68~75を読んでおく | 60分 |
| 第3回 パーソナルカラーとは② ヘアメイクの色、歴史・カラー診断実習 | テキスト肌の色、紙の色復習と自分のヘアメイク用品をまとめる | 60分 |
| 第4回 パーソナルカラーの特徴 4シーズンの特徴・カラー診断実習 | ヘアメイクの色まとめ。テキストp75~93を読んでおく | 60分 |
| 第5回 色彩理論① 色の仕組み(光と目、色の三属性、CUS®) カラー診断実習 | 4シーズンのまとめ課題プリント、テキストp24~30読んでおく | 90分 |
| 第6回 色彩理論② CUS®表色系の理解とカラーカードで配色実習) | テキストp30~40読んでおく課題プリント | 90分 |
| 第7回 色彩理論③ 色相配色・色調配色 カラーカードで実習 | 配色課題プリント仕上げる | 90分 |
| 第8回 色彩理論④ 色の対比効果とアンダートーン配色実習 | テキストp41~43、p46~55読んでおく、配色課題プリント | 90分 |
| 第9回 パーソナルカラー診断実習 一人一人の似合うを調査 | 自分に似合うシーズンを理解し、似合う服、メイク、ヘアカラーの調査 | 60分 |
| 第10回 パーソナルカラー診断実習 一人一人の似合うを調査 | なりたい自分に必要なアイテム調査 | 60分 |
| 第11回 ファッション概論 配色テクニック、イメージワードの配色 | テキストp56~63読んでおく、自分に合うイメージワードを決定、配色課題プリント | 90分 |
| 第12回 自分の体型、顔のタイプ調査 *プリント配布 巻き尺とものさし必要 グループディスカッション | 自分の的確なサイズを計測しまとめる | 60分 |
| 第13回 和装の知識、フォーマルの定義 *プリント配布 | 自分の着物や浴衣の写真を用意(着てみたいものでも良い) | 60分 |
| 第14回 色彩心理効果 クレヨンか色鉛筆用意 *プリント配布 | テキストp16~23、44,45四でまとめておく | 90分 |
| 第15回 まとめ 自分のファッションスタイルのプレゼンテーション全員発表 | プレゼンに向けて原稿・資料作成 | 120分 |

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。

授業内の配布する課題プリントへの取り組みとその評価 50%、最終回のプレゼンとそのレポート・コラージュ課題 50%

課題に対してのフィードバック

授業内で課したプリントにはルーブリック等で評価し返却する。最終課題は教務部から返却。

教科書・参考書

教科書ほぼ毎回使用します：パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト第2版 (株)JAPCAセンター発行 (株)誠文堂新光社 教材:CUS®カラーカード185 (株)カラースペースワム発行 **教材のカードは 他のカードでは役に立ちません。